サンライズ・メイト・バートの広報誌
Rising Sun
Vol.94
令和4年1月25日発行
ライジング・サン
訪問介護・居宅介護支援事業所
サンライズ・メイト・バート株式会社
東京都足立区東綾瀬1－22－1　ル･ヴァン綾瀬1Ｆ
電話　03－5697－9895 FAX　03－5697－9896
発行人　代表取締役　井上明美

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役　井上　明美

いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
三寒四温の季節、まだまだ寒さが厳しい日が続いております。コロナウイルス第6波の脅威にさらされておりますが私たちでできることは手洗いうがい、消毒に徹することしかないですが、未知のウイルスとの闘いに疲れを感じている方々も多いと思います。とは言え負ける訳にはいきません。お一人お一人ができることを地道に行うことで明るい未来を切り開いていかなければなりません。ワンフォーオール・オールフォーワン（一人はみんなのために、みんなは一人のために）合言葉です。

サンライズの物語

「死」は「生きる事」 ――― 最期の場所について考える物語

その方は、白血病と診断され病院で抗がん剤治療を行っていましたが自宅へ戻りたいとの思いが強く奥様がいる自宅へ戻った方でした。

奥様から自分のベットへ戻ったら安心したようですとの話がありましたが、長年暮らした自分の家へ戻ることの意味・・・
聞きなれた生活音、家族の声やペットの鳴き声等、入院経験のある方だと分かると思いますが、懐かしい音・・匂い・・全てが愛おしく感じる瞬間だと思います。

そんな中トイレへもやっと行っていたのですが、排泄も困難になってきた次の朝、奥様が気が付くと永遠の眠りについていたとの事。
お悔みに訪問するとご家族さまが居て「きっと父は母に負担を掛けるのが忍びないと思い旅立ったんだと思います」と話されておりました。

今生の別れの時に家族に辛い思いをさせたくないという心が働いたと想います・・・
最期の瞬間まで我が家で暮らすことの素晴らしさはわかっていても、悲しいことです。
「死」は「生きる事」以前誰かから聞いた言葉を思い出しました。

サンライズのデイサービス陽光だより

2022年、新年のデイサービス陽光は初詣に出かけたり、福笑いやカレンダーづくりを行ったりとお正月を楽しみました。世の中はまだまだ気の抜けない状況ですが、笑顔で元気に過ごしています！

NEWS　今月のニュース

甘えるロボットに高齢者癒され「職員に見せない表情に」

神戸市内の介護施設２カ所で昨年１０～１２月、家族型ロボットの実証実験があった。職員のストレス軽減や施設内のコミュニケーション促進を目指し、ロボットを配置。職員の手が回りきらない施設のお年寄りの相手をするなど、副次的な効果も生まれたという。効果を検証し、今後、施設援助策の一つとして市の施策に取り入れるかどうかの検討材料にしていく。（小野萌海）

行政課題の解決につながる事業に、市が費用の一部を支援する「民間提案型事業促進制度」の一環。介護分野では人材確保が大きな課題となっており、職員の負担軽減に人工知能（ＡＩ）やロボットを生かす事業として試験的に採用された。

使ったのは、ロボットメーカー「ＧＲＯＯＶＥ　Ｘ（グルーブエックス）」（東京都）のロボット「ＬＯＶＯＴ（ラボット）」。今回の実験では、ＳＯＭＰＯケアが運営する「ラヴィーレ神戸伊川谷」（神戸市西区）と「そんぽの家南多聞台」（同市垂水区）が、ラボットを２台ずつ導入。親しみやすいよう、１台ずつ「いちご」や「バナナ」などと名付け、入居者の共用スペースや職員の休憩室などに置いた。

ラボットは高さ４３センチ、重さ約４キロで、人肌のように温かい。障害物をよけながら走り、抱っこなど人との触れ合いを求める。センサーやカメラで人の声や顔を認識し、瞳を動かしたり鳴き声を発したりする。

ラヴィーレの嘉村智子支配人（４７）や、そんぽの家の内野雄輔上席ホーム長（３５）らによると、職員たちは出勤時にラボットに「おはよう」と声を掛けたり、休憩時間になでたり。うれしそうな表情や甘えるようなしぐさに癒やされたという。ロボを通して職員同士の会話が生まれたほか、「愚痴が減りました」と内野上席ホーム長は効果を実感する。

入居者もラボットに話しかけたり、歌を教えたり、「職員には見せないような表情を見せる」と嘉村支配人。夜に眠れない入居者がラボットと一緒に過ごすこともあったという。

同社神戸事業部長の鈴木実さんは「職員が１人の方にずっとついているわけにはいかないし、入居者も気を遣っている。ラボットは、用がなくてもそばにいてくれる。職員の仕事の隙間を埋めてくれる存在」と話した。

ラボットと触れ合う入居者＝神戸市西区伊川谷町有瀬、ラヴィーレ神戸伊川谷

＜神戸新聞NEXT2021/1/31(月)＞

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。http://www.samaba.jp/back-number/